

岡山の子育てファミリー&ママのライフスタイル応援!

FundaClub 0円

ご自由にお持ちください

TAKE FREE!

ファンダクラブ 2011 Autumn パパとママにうれしいお役立ち情報満載



「ママメール」会員募集中!

情報の
ページ

- ・岡山県・岡山市
- ・倉敷市・総社市
- ・玉野市・赤磐市
- ・美作市・高梁市
- ・瀬戸内市

巻頭特集

みなさんは、ボーイスカウトを
ご存知ですか?

秋の特集満載

備前市長訪問+遊ぼう

七五三情報

秋からはじめるKidsスクール

My home&My life style・先生おしえて!

早耳情報・図書館情報・読者プレゼント





社会で生きる
ためのスキルを、
楽しみながら
身につける。

仲間と一緒に学ぶのは、

自主性&責任感。

そして、思いやりの心。

みなさんは、

ボーイスカウトを

ご存知
ですか
?

言葉は聞いた事があるけれど、具体的にどんな活動をしているのか知っている方は意外に少ないのではないのでしょうか。

そこで、今回はボーイスカウトの入団説明会におじゃまして、ボーイスカウトに関する素朴な疑問について伺ってみました。

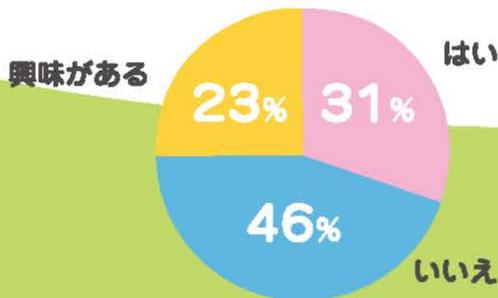


ファンダクラブ ママ会員さんに聞きました！

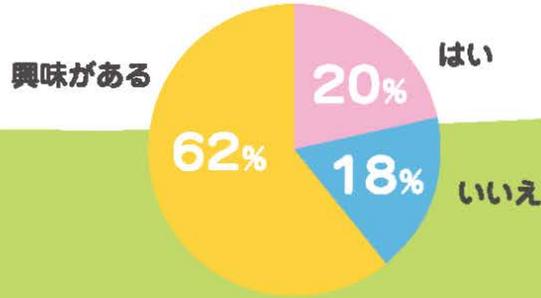
アンケート実施日・・・6月1日から5日間（回答数138）



Q ボーイスカウトって、
何をするか知ってますか？



Q 子どもをボーイスカウトに
参加させてみたい？



スカウトの活動の中で学ぶ 仲間との関わり方

まずは、ボーイスカウトについて少しだけ触れておきましょう。ボーイスカウトは、1907年にイギリス人のロバート・ベナン・パウエルが青少年の健全育成を目指して創設しました。現在は、世界組織である世界スカウト機構(WOSM)に正式加入している国と地域が161、世界中に2千800万人の団員がいるといわれています。日本のボーイスカウト連盟に所属する加盟員は、14万9千785人（平成22年度末現在）。岡山県にも21の団があり、それぞれに独自の活動を行っています。今回は、さる7月3日に行われた入団説明会・体験会の活動の様子をのぞかせていただきました。当日はあいにくの雨模様。でも、会場の吉備公民館に集まったメンバーは、みんな元気いっぱいです。ところでボーイスカウトは、年齢によって違うグループで活動していることをご存知でしょうか？

ボーイスカウトは、幼稚園・保

育園の年長の9月から入団できますが、そこでまずビーバースカウト隊に入り、小学2年の9月からはカブスカウト、小学5年の9月からはボーイスカウトと、所属する隊が年齢で段階的に変わって行きます。この日、取材に協力してくれたのは、ビーバースカウト大森陸くんとお母さんのお母さんの公恵さん。陸くんが入団を決めたのも、昨年の同時期に開催された、入団説明会がきっかけです。今回も、別会場では同様の説明会が開かれていて、多くの保護者が参加されていました。

公恵さんは「転校生だったこともあり、うちの子は集団に入るのが苦手だったんです。一人っ子で、家では年齢の違う子どもと遊ぶこともありません。その点、ボーイスカウトは縦のつながりのある集団なので」と、お子さんを入団させた動機を語って下さいました。アウトドア好きで、以前から関心があった公恵さん、「説明会に行きたい」ということを、ご近所のママ友に打ち明けたところ「うちも入るよ」と言われ、説明会にも同行してもらったことに。

野外活動が基本のボーイスカ

ウトですが、5歳から7歳ぐらいの子どもたちが所属するビーバースカウトは、親の付き添いが必要です。内容も、2〜3時間で行くハイクやアウトドアアクッキング、自然の中での遊びや工作が中心。この日は、広い体育館でみんなと一緒に工作をしたり、紙飛行機を飛ばしたりという内容でした。「ご飯をビニール袋で炊くような、家では出来ない事をさせてもらえるのがいいですね。入団して約1年になるんですが、人の輪にも自然に入れるようになったし。何より喜んで参加しているので、ぜひ続けてもらいたいです」と公恵さん。



仲間と「喜」憂しながら一生懸命遊ぶ陸くんの楽しそうな笑顔からは、人の輪になかなか加われなかった以前の様子など想像できませんね。



森で
芸術作品づくり



おおきい〜!!

あつまれ、げんき! スカウト活動紹介

ちょこっと

今夜はごちそうだ!



仲間と一緒に作って食べる
ごはんは最高!

やったー!
巨大な魚をゲット!

自分で考えて
行動できる子どもに

ボーイスカウトというと、すぐ頭に思い浮かぶのはキャンプなどのアウトドア活動やボランティア活動です。この日は雨天のため、やむなく屋内で工作を行いました。そういった活動もできるだけ野外で行うのが基本なのだとか。なぜなら、野外だと予定通りに行かない事が多いから。指導者もスカウトも、「万事計画通りに」とはいかない状況から、対処法を学びスキルアップしていくのだそうです。そんな話しをしながらも、自分で作った紙飛行機を飛ばして飛距離を競っていた子どもたちが危ない目に合わないよう、声かけをしていく指導者たち。こんなところにも「ボーイスカウト活動の基本は、観察力を身につける事」という教えが生かされています。今のこの状況に対してどう行動するかを考えるには、観察力が大事なのだとか。

ボーイスカウトたちは年齢が上がるにつれ、自分たちで目標を決めて行動するようになりま



すが、ビーバーやカブスカウトぐらゐの年齢の子では、さすがにそれは無理。そこで、活動の記録をつけるノートを携帯し、あらかじめ決めた目標がクリアできたら表彰などのご褒美がもらえるようにしているのだそうです。子どもたちは、そうして日々結果を求められる訳ですが、学校の授業と違うのは結果ではなく、そこに至るまでのプロセスを見守り、ほめてもらえること。だから頑張れるし、やる気も出るのだとか。

ピーバースカウトの一人が見せてくれたノートには、活動に参加するたびにもらえる葉っぱのシール、「木の葉章」がいっぱい貼ってありました。10枚集めると「小枝章」が一つもらえ、その都度制服に貼っていくのだそうです。やがて、年齢が上がるごとに増えてくるグループワークに対応するため、またチームの中で役割をまっとうするため、子どもたちはバツジシステムを利用し、自分で決めたプログラムに挑戦してスキルアップしていきます。

現役ボーイスカウトの保護者に聞く ボーイスカウトの アレコレ

別室で行われていたのが、ボーイスカウトの入団を希望する保護者を対象にした入団説明会。学校で配布されるチラシを見て、あるいは、同級生や近所のママ友に紹介してもらったりして、入団説明会のことを聞きつけた保護者たちは、真剣な表情で指導者の説明を聞いていました。中でも、

ボーイスカウト 入団のご案内

小学校入学前の9月から入団できます。学年の途中からでも参加できます。



女の子も入れます。(団によりガールスカウトもあります)



? 費用は・・・

日本連盟への登録費用(保険費用含む)年間4,800円と活動費(団ごとに異なります)が必要です。

? 集会は・・・

土曜か日曜に月数回(団ごとに異なります)



見学・体験
随時受付中!



お近くの団でいつでも受け付けています。お問い合わせは下記まで。

第1地区 TEL: 086-943-5005 (築田)
Email: bs3301office@mx36.tlki.ne.jp

岡山第4団・岡山第17団・岡山第23団・岡山第26団・赤磐第2団・西大寺第1団・西大寺第5団・都窪第2団

第2地区 TEL: 086-423-0305 (杉本)
Email: cub_sugl@ms11.megaegg.ne.jp

倉敷第14団・倉敷第16団・児島第1団・総社第3団・玉野第1団・玉島第5団

第3地区 TEL: 086-542-7168 (岡本)
Email: okamoto713a@cnknet.jp

浅口第1団・浅口第2団・浅口第3団

第4地区 TEL: 0868-26-0531 (木多)
Email: kita-317@mx1.tlki.ne.jp

津山第1団・真庭第3団

第5地区 TEL: 0867-72-2730 (山田)
Email: konkonimi@mx3.tiki.ne.jp

高梁第1団・新見第1団

もっと詳しく知りたい方は・・・

日本ボーイスカウト
岡山連盟ホームページ
www.scout-ok.jp

岡山連盟

検索



TEL:(086) 942-2186 (今田)
Email: bs_okayama@personal-web.net



4年に一回、世界のスカウトが舞台! 楽しい国際交流!

2011年8月スウェーデンにて
世界ジャンボリー
にも参加!

高いところ大好き!



国立吉備青少年自然の家(吉備中央町)に、岡山のスカウトと一緒に会します

今後の活動

2011年10月23日
2011スカウトフェスタ

2013年
日本ジャンボリー
2015年
世界ジャンボリー

山口県さくら浜にて

女の子だって木登りだ!

関心を寄せていたのが先輩ボーイスカウトの保護者たちの体験談。学校でも、家庭生活でもできない経験をさせてやりたい」「引っ込み思案の性格を少しでも改善してやりたい」など、入隊の動機は様々ですが、ボーイスカウト活動を通じて、お子さんに関する保護者が多いようです。

もっとも興味深かったのは、先輩ボーイスカウトの保護者の口から出た、入団後のお子さんの変化です。「人の輪に入れるようになった」「弱音をはかなくなった」など、1年ほどの短期間でも驚くほどの成長を見せるボーイスカウトたち。中には「塾のお迎えを忘れてしまったら、自分で

判断して徒歩で帰って来た」というほど、たくましく成長した子も。

このように、状況を判断し、自ら考えて行動する力は、受け身の教育だけではなかなか身に付きません。そこで保護者たちは、そのためのスキルを学んで欲しいとの願いを込め、ボーイスカウトへの入団を希望するのだとか。そういった保護者たちの思いを受け止め、「我々のやっていることが、社会から求められているのも自覚がありますし、そういった意味で子どもたちの成長を見守るのは楽しみでもあります」と、長年に渡り、子どもたちの成長を見守ってきたベテラン指導者の心強い言葉が心に響きます。